

石野地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

石野地域は、市中心部の北東に位置し、矢作川、犬伏川、カ石川など多くの川が流れている。バス路線は、おいでんバスが2路線（さなげ・足助線、旭・豊田線）と石野地域バスが3路線運行している。土地利用の状況は、全域が市街化調整区域のため、山林や農地の割合が高く、住宅地は、東広瀬町に住宅団地があるほか、街道沿いに集落が点在している。また、最近では、開発基準の特例を受けた新たな住宅も増加している。

面積	30.75 km ²	(3.3%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	115 人/km ²	(24.8%)	[市 462 人/km ²]
人口	3,521 人	(0.8%)	[市 424,500 人]
男性	1,756 人	(0.8%)	[市 221,768 人]
女性	1,765 人	(0.9%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	36 人	(0.2%)	[市 16,327 人]
世帯数	1,260 世帯	(0.7%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	48.73 歳	(6.0歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

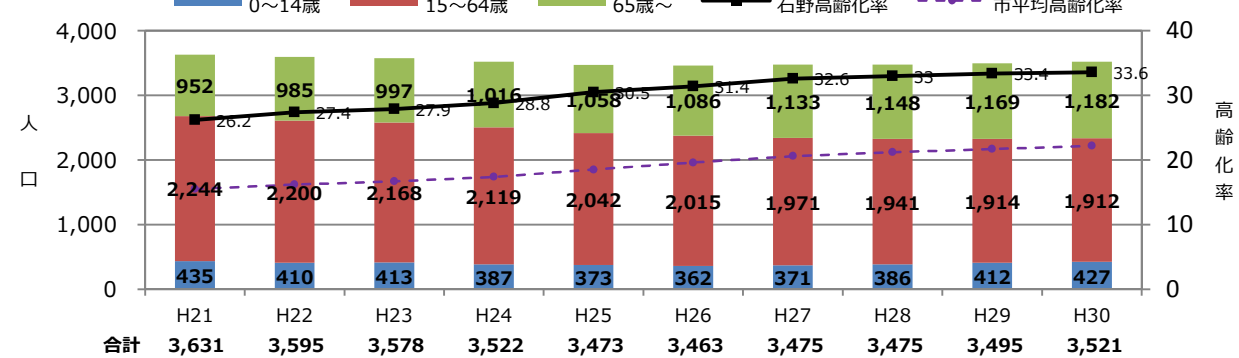
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	3,473	3,521	48	1.4
0~14歳	373	427	54	14.5
15~64歳	2,042	1,912	△130	△6.4
65歳~	1,058	1,182	124	11.7
75歳~(再掲)	515	594	79	15.3
高齢化率	30.46	33.57	3.11	10.20

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△10	12	0	20	26
自然増減	△21	△20	△28	△24	△25
社会増減	11	32	28	44	51

【人口推移】



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

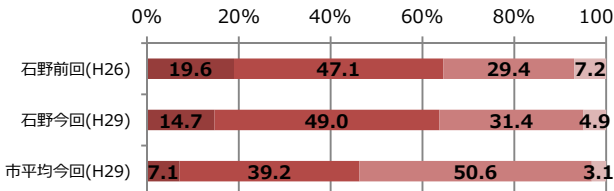
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	石野	豊田市	差
交通安全対策の推進	54.9	53.9	1.0
鳥獣害対策の強化	49.0	28.9	20.1
買い物の不便の解消	47.0	43.8	3.2
防犯対策の強化	46.1	40.5	5.6
豊かな自然環境の保全	44.1	40.3	3.8
生活道路・交通をスムーズにすること	44.1	45.4	△1.3
公共交通機関の充実	44.1	44.3	△0.2
医療の充実	41.2	47.2	△6.0
空き家や耕作放棄地の対策の強化	41.2	32.8	8.4
若年層の定住促進策の拡充	39.2	33.6	5.6
防災対策の充実	38.2	36.8	1.4
子育ての支援の充実	37.2	38.1	△0.9
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	35.3	38.0	△2.7
福祉対策の充実	35.3	31.8	3.5
住民同士の交流の場や機会の拡充	33.3	34.2	△0.9
広場、公園などの施設の整備	32.4	39.5	△7.1
農業・農地を保全すること	32.3	26.2	6.1
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	31.4	32.0	△0.6
近所での働き口の創出	30.3	25.8	4.5
市街地の活性化と魅力づくりの推進	24.5	31.3	△6.8
観光によるまちづくりの推進	18.7	18.9	△0.2

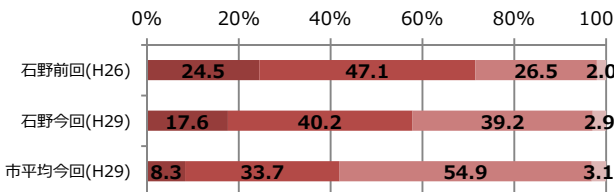
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

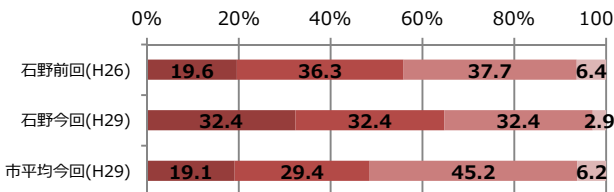
◎ 地域会議



◎ 地域のわくわく事業



◎ 地域の地域予算提案事業



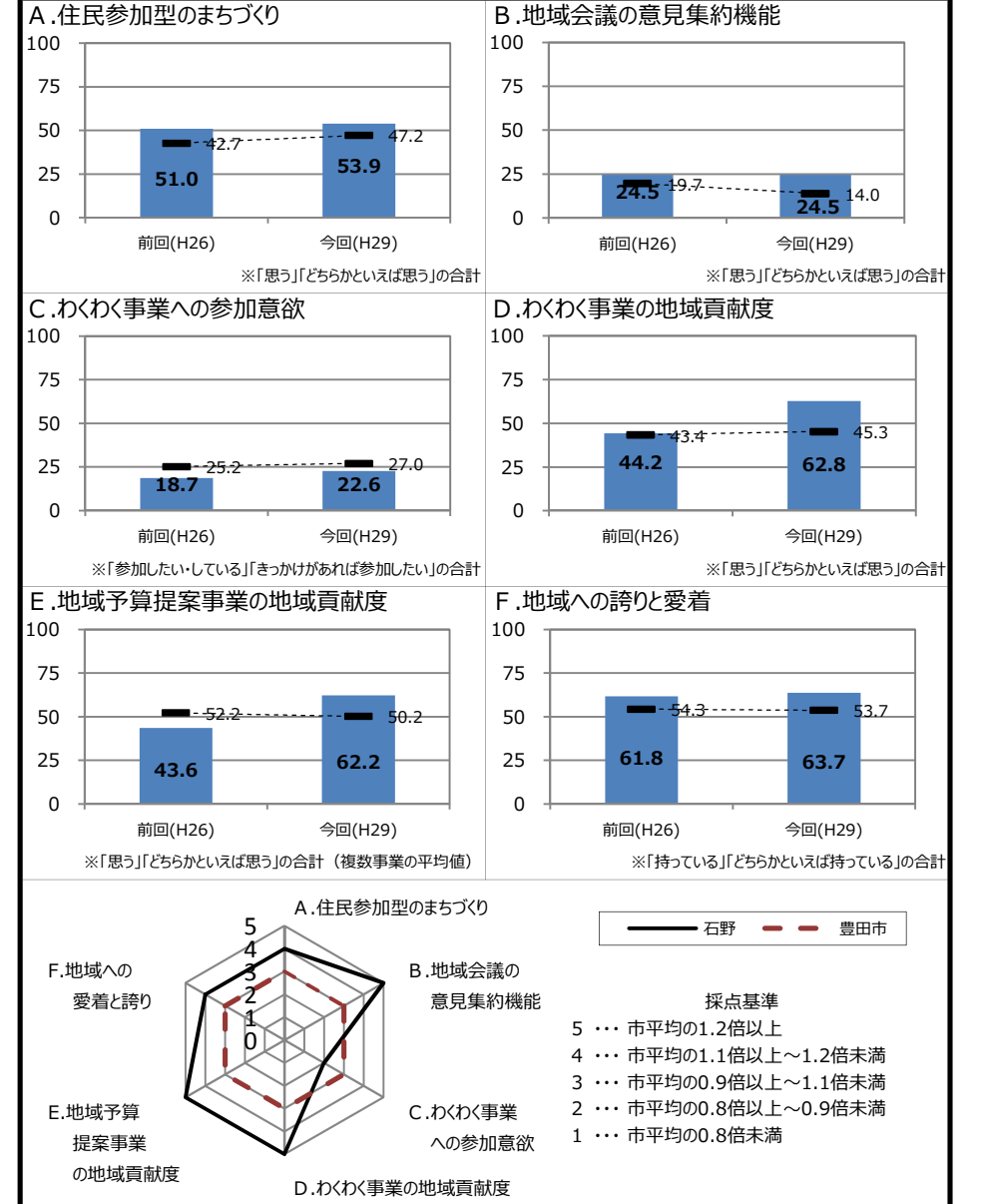
【コメント (地域概要)】

- ・古くからの集落を中心とした自治区が21 (合併19) と多いが、概してその規模は小さい。
- ・高齢化率は市平均より高い。
- ・地域全域が豊田市開発審査会基準第18号の指定区域。
- ・人口減少傾向が見られたが、平成27年から底を打った感がある。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

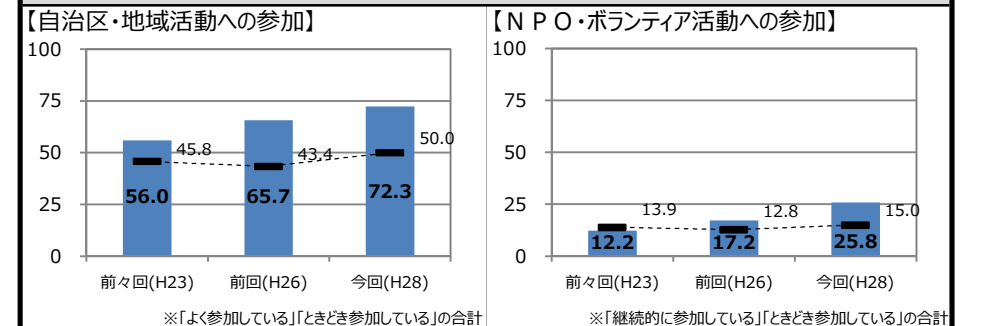
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動1)】

- ・わくわく事業を活用して地域づくりを継続している団体は複数存在しているが、事業への参加意欲という指標では市平均を下回っている。
- ・自治区・地域活動に参加する住民の割合は市平均を大きく上回っており、昔からの近所づきあいや地域のお役等を大切にしている地域性が表れている。
- ・地域予算提案事業の地域貢献度は市平均を下回っている。石野地域は広い地域に集落が分散しており、地域全体のニーズをひとつの事業に集約・反映しにくいこともその理由の一つであると思われる。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	1 団体
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	7 名	民生委員児童委員	13 名	お元気ですかボランティア	名
観光・産業	高齢者クラブ	2 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	55 団体	その他団体	団体
	活動例：【 】				活動例：【 】			
環境・景観	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	3 団体	交流館自主グループ	21 団体	わくわく事業関連団体	3 団体
	その他団体	2 団体	—	—	その他団体	団体	—	—
子どもの健全育成	—	—	—	—	—	—	—	—
	活動例：【 】				活動例：【 】			
その他1	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	2 団体	その他団体	団体	—	—
その他2	その他団体	団体	—	—	—	—	—	—
	活動例：【 】				活動例：【 】			
コメント	【 】			コメント	【 】			

【コメント（行動2）】

- ・地域の規模に比較して交流館で活動する自主グループが多い。地域への誇りと愛着を持つ住民の割合が他地域に比べて高いということも反映して、特に、地域の伝統や文化を理解・継承しようという団体が継続的に活動している。
- ・地域内の約半数の事業所が、高齢者を見守る「ささえあいネット」へ参加している。この割合は他地域と比較して高く、とりわけ高齢化が進む石野地域では、地域ぐるみで高齢者を支えようという意識が広まりつつある。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進				2	1	1					
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	3	1	2	2	2	2	3	1	5	3	
③安心・安全な地域づくり			3	4	4	2	1		2		
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	3	8	1	1	2	1		3	2	3	
⑤子どもの健全育成											
⑥地域の特性を生かした産業振興								1			
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業			1	1	1	1					
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	2	2					1	1	2	1	
事業件数（件）	8	11	7	10	10	8	5	7	10	10	
実績額（千円）	4,819	4,436	3,196	3,722	3,982	2,798	2,948	3,662	4,474	3,737	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
石野地域資源回復共働事業	環境対策	1,396									
高齢者の生きがいの場づくり事業	高齢福祉		3,644	1,190	13,347						
石野地区まちづくり計画策定支援事業	自治振興					3,365	3,585				
旧西中金駅を活用した石野地域の魅力づくり事業	自治振興							7,498	4,556		
地域資源を活用した石野の魅力づくり事業	自治振興									1,289	19,407
実績額（千円）				1,190	13,347	3,365	3,585	7,498	4,556	1,289	19,407
※H30は当初予算額											

【コメント（行動3）】

- ・わくわく事業の申請件数は一時減少したが、新規事業の申請もあり増加傾向にある。
- ・わくわく事業の制度を利用せずに活動している団体も複数存在しており、自立した活動もみられる。
- ・石野地域には多くの魅力や地域資源が眠っており、わくわく事業によってさらに地域が活性化する余地は大いにある。ただ、事業の担い手も高齢化しているため、新規の事業開拓と同時に、若い世代の掘り起しも必要である。

総評

- ・石野地域は、市中心部からのアクセスも比較的よい位置にありながら、山、川、農山村の景色も美しいのどかな土地柄である。
- ・小規模な集落が広い地域に分散しており、商店・小売店等は主に国道沿いにまばらに存在している。このため、核と言える地域はないが、東広瀬町をはじめ、開発審査基準18号の指定により、住宅が増加している。これが人口の減少に歯止めをかけていると考えられ、今後の推移が注目される。
- ・わくわく事業で活用されている旧三河広瀬駅・旧西中金駅のほか、歌舞伎、棒の手、ささゆりの里、上高湿地等、興味深い地域資源が多く存在する。また、地域住民が大切にしている田畑や水辺等、一見何気ない風景も石野地域の魅力である。
- ・住民の高齢化と人口減少が、集落の維持、自治区運営の担い手の不足など、石野地域にも大きな影響を及ぼしている。これが、石野地域の最大の課題である。地域全体としては若い世代の転入によって人口減少の歯止めが期待されているものの、小規模な自治区では依然として高齢化と人口減少が懸念される。